

10月23日（水）の授業参観では、汐路小学校が昨年度から取り組んでいる「自由進度学習」を取り入れた授業を公開しました。学校・学年だより等の文章では伝えづらい学習の様子を見ていただこうと思ってチャレンジしてみたのですが、いかがでしたか。多くの保護者の方のご参観、ありがとうございました。

授業参観では、それぞれの学年・学級で、算数、生活科、社会科、家庭科、国語、理科と、教科を選んで授業を行いました。本校では、教科を限定せず、「自由進度学習を取り入れることでよい効果がある」と考えられる単元や内容で、実践に取り組んでいます。「子どもたち一人一人が違うことをしている姿」をご覧になり、戸惑われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。お子さんの近くでご覧いただくと、様子が分かりやすいのですが、参観しづらいところもあったかもしれません。



<課題を選ぶ1年生>

4年生の社会科「自然災害からくらしを守る」では、防災会議に向けて、「非常持ち出し品」「備蓄倉庫」「避難所作り」「それぞれのクラスで行う自主防災組織」などのテーマの中から自分が「調べたい」「考えたい」と思うものを選んで学習を進めました。



<話し合いをする4年生>

実は、この単元での自由進度学習は、昨年度の4年生も行っていました。現4年生の担任の話によれば、昨年度の授業をベースに、「防災について、より自分事として考えられるように」と考えて授業計画を立てたのだそうです。自由進度学習においては、「試行錯誤が大切」と言われていますが、子どもたちだけでなく、教員も試行錯誤が大切なのだということを改めて感じました。このような積み重ねにより、自由進度学習の質が高まっていくのだと思います。

昨年度9月に「ナゴヤ学びのコンパス」が公表され、今年度は名古屋市立の学校園すべてで「学びのコンパス」の考えに沿った授業の工夫が行われています。本校の取り組みもまだまだ始まったばかりですが、意欲あふれる教職員と、いつも温かく支えてくださる保護者・地域の皆様のおかげで、一步一步取り組みを進めることができます。

